



Weekly Report

名古屋みなと

2019~2020

承認 1966年 5月12日 例会日 金曜日 12:30
 例会場 名古屋マリオットアソシアホテル
 事務局 TEL 052-586-2955 FAX 052-586-2956
 E-Mail office@portnagoya-rc.com
 URL http://www.portnagoya-rc.com
 会長 芹澤謙一 幹事長 瀬廣幸
 広報・雑誌・会報委員長 加藤茂春

ROTARY CONNECTS THE WORLD ロータリーは世界をつなぐ R. I. 会長 マーク・ダニエル・マローニー



第 2564 回例会 No.14
 2019年(令和元年)11月8日(金) 晴
 「奉仕の理想」

出席報告

会員 68名中 出席 48名 出席率 70.59%
 ○スピーカー J.フロントリテイリング特別顧問
 岡田 邦彦氏(名古屋 RC)

会長挨拶



職業

あるアメリカの研究者が語った言葉で「子供たちの65%が現在存在していない職業に就くことになる」と言っています。この言葉はその当時は賛否両論あったとも言われていました。

この言葉を投稿した40歳代の研究者がまだ子供だった30年ほど前、当時なかった職業を考えると、ウェブデザイナーなんて無かったですし、アプリ開発者もありませんでした。子供たちに人気の「ユーチューバー」ももちろんありませんでした。職業だけではなく、企業もそうです。

今の世界の時価総額トップ10の企業には皆さんもよく知ってる「マイクロソフト」「グーグル」の持ち株会社である「アルファベット」、「アップル」、「アマゾン」、「フェイスブック」、「アリババ」などが名を連ねますが、ほとんどが30年前には存在すらしていなかった企業なんです。

私が携わっている鉄鋼業は18世紀末に英国で生まれた産業で、日本では1901年に出来た官営八幡製鉄所から始まっています、その後富士製鉄、住友金属工業と合併し現在の日本製鉄となっていますが典型的なオールドエコノミーなんです。

ただ、この地球に豊富に存在する鉄はこれまで最も人類の生活を豊かにしてきた金属であり、これからもそうであると信じています。

世の中がめまぐるしく変化中それだけでは変わらないでしょう。皆さんも、これからも日々の生活の中での鉄を感じて使い続けて下さい。

今後30年後には今現在は存在していない分野の新しい企業が時価総額トップ10に幾つかランキングされるでしょうし、現在存在する産業が入ることだってあるかもしれません。その時代にどれだけの中小企業が存在しているのでしょうか？

また、近頃AIによって職を失うのではないかとAIによって消えてしまう職業がしばしばニュースになっていますよね？

ただ、AIにも出来ないことがあります、人間の持つ「いい加減さ」でありこれこそ人間の持っている特権の一つなんです。

そしてもう一つ「何かをしたい」という欲求もAIにはないんです。人間の持つ5大欲求では生理的欲求から最後には「自分はこうありたい」という自己実現への欲求に進んで行きます。

欲求を持たないAIが「こうなりたい」と思うことはないんですね。例えば「絵を描け」とか「作曲をしろ」とか命令さえすれば人間よりいい仕事が出来るかも知れません。ただ、「人の役に立つものを創り出したい」とAIは思わない。

先が見えない時代、「人間らしさ」を問われる時、「ひとの役に立ちたい」と思い、どうすべきか考えていくことが大切なんではないでしょうか。

表彰・ゴルフ会優勝

橋本 修三君

10月30日(水)名古屋ゴルフ倶楽部



ニコBOX

(本日久しぶりに卓話を仰せつかりました)

名古屋RC岡田 邦彦君
 (岡田さんようこそお越し下さいました。卓話をよろしくお願ひいたします) 芹澤会長
 (岡田様、卓話どうぞよろしくお願ひ申し上げます。先日は深谷君に大変お世話になりました) 長瀬幹事
 (11月6日宮様杯ゴルフ大会へ芹澤会長始めクラブ会員の皆様ご参加ありがとうございます。また加藤(昌)君総合優勝おめでとうございました) 深谷君
 (ゴルフ会で優勝しました) 橋本君
 (加藤(嗣)君お仕事ありがとうございます)

山田(豊)君
 (伊勢駅伝残念ながら母校は2位でした。原監督が懇親会で「箱根失敗しないので」と言っていました)

高田君
 (岡田邦彦様、本日の卓話宜しくお願ひ致します)

平松君
 (高田君この年でお子様がお出来になりおめでとうございませう。やっとな親の気持ちがかかるようになりますね)

野崎君
 (久しぶりに出席です。宜しくお願ひ致します。夫人誕生祝)

神谷君
 (寛仁親王記念ゴルフコンペで優勝させて頂きました。嬉しかったです)

加藤(昌)君
 (業務多忙です) 酒井君、神谷君

本日合計 35,000 円
 累計 1,332,100 円

幹事報告

長瀬 廣幸君

1. 本日、12月20日(金)「忘年家族会」のご案内をさせていただきました。親睦活動委員会を中心に企画・運営していただく最大の催しです。ご家族お誘い合わせの上、多数のお申込みをお待ちしております。

卓話 「好奇幸齡のすすめ」

J.フロントリテイリング特別顧問 岡田 邦彦氏



「ゆとろぎ」という言葉は「ゆとり」プラス「りくつ」。文化人類学の片倉もとこ先生がアラビア語「ラーハ」(幸せ)を日本語にと考案された造語です。休息だけでなく祈る、学ぶ、詩を作る、夢見る、旅

する、瞑想、団欒など多くの幸せが含まれています。私はこの言葉が大好きで、ミニ講演会「ゆとろぎの

タベ」を開いて、理屈ぬきでユーモアのある人生術を勉強しています。ユーモアとは、不幸”にもかかわらず”笑うことです。「家庭とは母やさしくて父つよくそれでいいのだ。うちはちがうが」という中学生の狂歌はユーモアの本質「自分を笑う」を示しています。

片倉先生の別の造語「高貴紅齡」“気品と色気のある女性”も素敵な言葉です。私は男性向きに「好奇幸齡」という言葉を考えました。齡をとると好奇心が薄れ、昔の成功体験を基に「愚痴・自慢話・お説教」が多くなります。問題に直面したら、まず好奇心をもって関連事実、重要度や緊急度、問題構造など調べてみましょう。

サムエル・ウルマンの詩に「青春とは一生の一時期のことではなく、心の持ち方のことだ。バラ色の頬、赤い唇、しなやかな手足ではなく、意志や想像力の質、感動の強さ、人生という深い泉の鮮度のことなのだ」とあります。私は30代で初めてロータリーに出会いました。当時のスローガン「溝を埋めよう(Bridge the Gap)」と「超我の奉仕(Service above Self)」は今も私の中にあります。特に世代間のギャップに橋を架けたいと毎年若手経営者の合宿勉強会に参画したり、長年「どまつり」の責任者として若者の人材育成に携わっております。

現代は利己主義(Egoism)が横行していますが、日常生活にもっと利他主義(Altruism)の行動が必要です。これからも人間、時間、空間のそれぞれの「間」をつなぐ御縁を大事にしていきたいと思ひます。人との付き合い、所属先の数が人間の寿命を決めるそうですから。

月	日	今後の例会予定
11	15	10日地区大会に変更
	22	休会
	29	ロータリー財団卓話 「ロータリー財団の多様性について」 地区ロータリー財団委員会 副委員長 中村 公彦君
12	6	年次総会 第2回クラブフォーラム
	13	港友例会
	20	忘年家族会 例会変更 18:00 16階「アゼリア」
	27	休会